

# 造形通信

2025. 2月  
NO.75  
ひいらぎこども園

2月になりました。立春が過ぎたものの、寒さは一段と厳しくなってきました。ちらほらと雪が降ってくる日もあります。まだまだ春はやってこないのでしょうか。

さて、ひいらぎこども園では、1月27日から2月1日まで『作品展』が開催され、子どもたちが今までみんなと一緒に作った作品が園舎いっぱい展示され、にぎやかな空気に包まれました。みんなの「つくる楽しさ」がいっぱい詰まった空間を少し振り返って見ましょう。

## 作る楽しさ できた喜び

### 2025年度

## 作品展

## 日々の造形活動が形に

発表会にも登場したねこちゃん達。こんなにもたくさん作ったとは、驚き！



いろいろな部屋で見られる、枝や木の実、つるで作った作品。秋のにおいにするリースやツリ、いろいろな作品に変身していました。自然物を生かした作品はみているものも心が和みます。



玄関ホールでは大きな「はらぺこあおむし」のあおむしくんが出迎えてくれます。上を見るとカラフルなステンドグラス風の飾りや蝶々が飛んでいたり、ゆらゆら揺れるくらげがいたりといつ足が止まってしまう楽しい空間です。光で輝く色水をシャカシャカと親子で振っているほほえましい姿も見られました。乳児組の日頃の活動から生まれた作品。展示にも創意工夫が見られ、楽しい作品がいっぱいになりました。

年長組の部屋にある水族館の揺れる水の中に入って体感する年少組の子達。

いろいろな色水の入ったペットボトルを下から光で照らす斬新な工夫。

自分たちで作った電車に見に来てくれたお父さんお母さんに乗せて嬉しそうに廊下を走っています。見てもらうというのは、子どもにとって、嬉しい時間のようです。

年長の部屋の入口にでんと構えるかまきりくん。見つめてしまいます。

夏祭りのお化け屋敷の時に登場した目玉おやじやお墓、それから活動はずっと続いていました。



3段に重ねることで立体的に見えますね！

かさ袋が素敵なのれんに！